BSE342 およびBSM342 ベースステーションの 設定

内容

概要 前提条件 要件 使用する<u>コンポーネント</u> 表記法 製品の説明および使用方法 **BSE342 BSM342** 動作モードおよび記述 Base Station Client Utilityによる設定 BSCUのインストール クライアントの設定とベースステーションへの関連付け <u>ベースステーションの設定</u> Webブラウザによるベースステーションの設定 ベースステーションを参照 ベースステーションの特性 Telnetによる設定 ファームウェアのロード 関連情報

<u>概要</u>

Cisco Aironet 340 シリーズ ベース ステーション BSE342 および BSM342 (総称的にベース ステ ーションまたは BSx と呼ばれる)は、ホーム ユーザや小規模オフィスにイントラネットやイン ターネットへのワイヤレス接続を提供します。イーサネット RJ-45 ポートを備えたベース ステー ションは、デジタル加入者線 (DSL)またはケーブル モデム経由でインターネットに接続できま す。BSM342 には、複数のコンピュータが 1 つのダイヤルアップ接続経由でインターネットにア クセスできるようにする統合 56k v.90 ダイヤルアップ モデムが搭載されています。

使いやすいグラフィカルインターフェイスを使用して、ベースステーションを迅速に設置および 設定できます。システムに付属し、Cisco Aironetクライアントアダプタとともに使用するBase Station Client Utility(BSCU)により、Windowsクライアントはこれらのタスクを実行するための使 いやすいツールを提供します。LinuxおよびMacOSクライアントは、TelnetまたはHTTP接続を介 してベースステーションを迅速かつ簡単に設定できます。

BSE342とBSM342には、直接ケーブル接続を行うためのコンソールポートがありません。デフォ ルト設定では、ワイヤレスクライアントPCをベースステーションに関連付けることができます。 この時点から、有線接続を必要とせずに、BSCU、Webブラウザ、またはTelnetクライアントを 介して接続できます。

前提条件

要件

このドキュメントで説明するタスクを実行する前に、次の手順を使用してクライアントアダプタ をインストールします。

• <u>Cisco Aironet 340 シリーズ ワイヤレス LAN アダプタ</u>

• <u>Cisco Aironet 350 シリーズ ワイヤレス LAN アダプタ</u>

また、クライアントPCにBSCUをインストールする必要があります(「BSCUのインストール」の 項で説明する手順に<u>従って</u>ください)。 LinuxまたはMacOSクライアントからベースステーション を設定する場合は、WebブラウザまたはTelnetに精通している必要があります。

<u>使用するコンポーネント</u>

このドキュメントは、任意のバージョンのファームウェアを実行するBSE342およびBSM342ベー スステーションに適用されます。

さまざまなワイヤレスクライアントプラットフォームでCisco Aironet BSx342ベースステーショ ンを使用することは可能ですが、現在、BSCUはMicrosoft Windows 95、98、2000、ME、および XPを実行するプラットフォームでのみサポートされています。LinuxおよびMacOSクライアント は、WebブラウザまたはTelnetクライアントを使用して、HTTPまたはTelnet経由でベースステー ションを設定する必要があります。

<u>表記法</u>

ドキュメント表記の詳細は、「<u>シスコ テクニカル ティップスの表記法</u>」を参照してください。

製品の説明および使用方法

BSE342

Cisco Aironet BSE342ベースステーションには、有線ネットワークに接続するための10/100 BaseTイーサネットインターフェイスがあります。BSE342は、DSLまたはケーブルモデムを介し てホームネットワークをインターネットに接続するためにインターネットサービスプロバイダー (ISP)が頻繁に必要とするプロトコルであるPoint-to-Point Protocol(PPP) over Ethernet(PPPoE)を 使用できます。

BSM342

BSM342はBSE342の機能を備えており、ISPへのダイヤルアップモデム接続を可能にするv.90モ デムも組み込まれています。

動作モードおよび記述

BSE342には、次の3つの動作モードを設定できます。ケーブルまたはDSLモデム、アクセスポイ

ント、またはPPPoE。BSM342には、次の1つの追加モードがあります。ダイヤルアップ.

- ケーブル/DSLモデムモードでは、ベースステーションがケーブルまたはDSLモデムを介して ISPとインターネットに接続できます。
- PPP-over-Ethernetモードは、ISPがケーブルまたはDSLモデム経由でPPPを使用する場合に 使用されます。
- アクセスポイントモードは、スタンドアロンワイヤレスネットワークをサポートするか、内部LANに接続してワイヤレスアクセスします。この設定により、ワイヤレス端末はプリンタやサーバなどのローカルLANリソースにアクセスできます。
- ・ダイヤルアップモードは、ベースステーションを電話回線に接続し、内部モデムを使用して ISPと通信します。

Base Station Client Utilityによる設定

BSCUによるベースステーションの設定には、次の手順が含まれます。

- 1. BSCUのインストール
- 2. クライアントの設定
- 3. <u>ベースステーションの設定</u>

BSCUのインストール

BSCUをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. クライアントの無線カードを挿入します。
- Base Station Connection Status(BSCS)ユーティリティがPCにインストールされている場合 は、システムトレイの電話アイコンを右クリックし、BSCUをインストールする前にExitを 選択します。
- 3. ベースステーションの設定に使用するコンピュータのCD-ROMドライブにCDを挿入します 。
- 4. エクスプローラを使用して、CDの内容を表示します。
- 5. BSCUフォルダをダブルクリックして表示します。
- 6. Setup.exe ファイルをダブルクリックします。インストールウィザードが表示されます。
- 7. インストールウィザードの手順に従います。
- 8. インストールウィザードから要求されたら、[Talk To A Base Station To Access The Internet]を選択します。
- 9. [Launch Base Station Client Utility]エントリボックスにチェックを入れ、[Finish]をクリック してユーティリティを起動します。

<u>クライアントの設定とベースステーションへの関連付け</u>

ベースステーションにはコンソールポートがありません。したがって、BSCUを使用した初期設 定では、無線リンクを介してベースステーションに接続する必要があります。これを行うには、 クライアントを設定する必要があります。

ベースステーションには、津波のサービスセット識別子(SSID)の工場出荷時のデフォルト設定が あります。SSIDは、ベースステーションに関連付けることができるクライアントを識別するため に使用されます。クライアントのSSIDをtsunamiに設定**します**。クライアントの設定に関する<u>詳</u> <u>細は、『クライアントアダプタの</u>設定』を参照してください。

クライアントを設定し、ベースステーションに関連付けるには、次の手順を実行します。

- 1. [Base Station Client Utility]メニューバーから、[Client]を選択します。
- 2. 図1に示す[Edit Client Properties]を選択します。図1-メニューの選択



- 3. SSIDがデフォルトのtsunamiに設定されていることを確認します。[コンピュータ名]の値は 、Windowsオペレーティングシステムで構成された名前に既定値として設定されます。この 名前は、ワイヤレスネットワーク上で一意である必要があります。注:[コンピュータ名]設 定を変更すると、PC上の他のネットワークプログラムが動作不能になり、PCログインパス ワードが認識されない可能性があります。この設定を変更するときは注意してください。
- 4. [Enable Encryption (WEP)]チェックボックスがオフになっていることを確認してください。
- 5. [OK] をクリックします。

図2:クライアントのプロパティ

340 Series Properties	×
Wireless Client Network Parameters	
Computer Name: REMERSON-W2K	
SSID: tsunami	
WEP Encryption Key:	
WEP Encryption Key Entry Method: Hexadecimal (0-9, A-F) C ASCII Text	Enable Encryption (WEP)
 Data Rate: Auto (Recommended) 1 Mbps Only 2 Mbps Only 5.5 Mbps Only 11 Mbps Only 	Network Type: Network Type: No Base Station (AdHoc) Base Station (Infrastructure)
Load From Floppy Drive	<u>D</u> efaults
	OK Cancel Help

図3-ステータスバー

Your 340 Series is Associated to BSM340_30fca2 IP Address 192.168.200.1 11:48 PM

この時点でクライアントがベースステーションとの関連付けに失敗した場合は、ベースステーションをデフォルト設定にリセットする必要があります。リセットボタンを使<u>用したデフォルトの</u> 設定を参照してください。

リセットボタンは、ベースステーションの背面パネルにある小さな穴に配置され、ベースステー ションパラメータをデフォルト値にリセットするために使用されます。

リセットボタンをアクティブにするには、次の手順を実行します。

- 1. まっすぐなペーパークリップを小さな穴に挿入し、を押します。
- 2. ペーパー クリップを外します。
- ステータス LED がオレンジに点滅して、ベース ステーションが次のデフォルトのパラメー タ値になったことを示します。[OK]をクリックすると、ベースステーションはこれらの設定 を送信します。[基地測点の設定を編集]をクリックして基地測点を変更します。

<u>ベースステーションの設定</u>

BSCUでワイヤレスクライアントがベースステーションに関連付けられていることを確認したら

、設定を続行できます。

- 1. メニューバーから、[ベースステーショ**ン]を選択します**。
- 2. <u>[基地測点を設定]を選択します。図4 メニューの選択</u>



[Set Up Base Station With My Settings]ウィンドウには、現在のBase Stationの設定が表示されます。図5 – 現在の設定

Set Up Base Station With My Settings	X
Computer Name = Network Name = SSID = Encryption = Base Station Mode = Base Station Name = Obtain Network Address Automatically =	REMERSON-W2K Workgroup tsunami Disabled Using DSL or Cable Modem BSM340_30fca2 On
Reset the Base Station now, middle LED is flashing Yellow. middle LED	and click OK when the Base Station's If you don't reset the Base Station, the won't flash Yellow.
The Base Station will then	be set up with your current settings.
Edit Base Station Settings	<u>OK</u> Cancel

これで、ベースステーションをネットワーク内の意図した役割に合わせて設定できます。 3. 表示された設定に問題がなければ、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてベースステ ーションの設定を受け入れると、BSCUによってベースステーションが設定され、ワイヤレ スPCのクライアント無線が自動的に同じベースステーションの設定に設定されます。

<u>無線ネットワークパラメータ</u>

[Edit Base Station Settings] ボタンをクリックすると、[Base Station Wireless Network Parameters]画面が表示され、SSID、Wired Equivalent Privacy(WEP)キー入力方法、WEP暗号化 キー、およびベースステーションとクライアントカードの暗号化設定を承認または変更できます 。

図6-無線ネットワークパラメータ

Base Station Wireless Net	work Parameters	ъ
SSID: WEP Encryption Key:	WEP Encryption Key Entry Method: Hexadecimal (0-9, A-F) ASCII Text Enable Encryption (WEP)	
<u>M</u> ore Info	Defaults Next > Cancel]

SSID(Set Service Identifier)は、ベースステーションの無線ネットワークを識別し、ベースステー ションと通信するすべてのワイヤレスデバイスで使用する必要があります。この値を変更するに は、入力ボックスに新しい名前を入力します。1 ~ 32文字のASCII文字を入力できます。

WEP Encryption Key Entry Methodは、暗号キーエントリ方式を選択します。この値を変更するに は、[16 (0-9, A-F)]または[ASCII Text]をクリックします。

WEP Encryption Keyは、128ビット暗号化によるセキュリティを提供します。暗号化キーは、す べてのワイヤレスデバイスとベースステーションで完全に同じ設定にする必要があります。この エントリは、128ビットWEPをサポートするクライアント無線カードでのみ使用できます。この フィールドで使用できるエントリは、選択したキー入力方法によって異なります。ASCIIエント リでは、1 ~ 13文字のASCII文字を使用できます。16進数入力を選択した場合は、1 ~ 26桁の 16進数文字(0 ~ 9、AF)を使用できます。

[暗号**化(WEP)を有効**にする]チェックボックスは、128ビット暗号化の使用を有効または無効にし ます。ボックスをクリックして、設定を変更します。

注:すべてのワイヤレスクライアントPCのSSIDとWEP暗号化キーの設定は、ベースステーショ ンの設定と完全に一致している必要があります。ベースステーションでこれらのパラメータを変 更する場合は、他のすべてのワイヤレスPCでBSCUを使用して、クライアントカードを新しい設 定に合わせて再設定します。

ネットワークパラメータを設定したら、[Next]というラベルのボタンをクリックします。

<u>ベースステーションの特性</u>

[Base Station Properties]画面では、図7に示す接続タイプのオプションを選択できます。

図7 - [Base Station Properties]

Base Station Properties			[×
Base Station Connection Ty	be:		٦	
C Use Built In 56K Modem	for Internet Con	nection		
Use Cable or DSL Mode	m for Internet Co	onnection		
C Use PPP over Ethernet	for Internet Conn	ection		
O Use as Access Point for	Wireless Clients	Only		
A Base Station can be used to s	nare an Internet	connection betw	een	
all of the computers in your hor	ne network. A u	seful feature of th	ne	
Base Station is that you don't h	ave to keep one in order to acces	of your compute to the Internet	ers	
		s the moment.		
		[]		
More Info	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel	

各モードの説明については、「動作モードと説<u>明」セクションを参照して</u>ください。使用するモ ードのオプションボタンをクリックし、[次へ]ボタンをク**リック**します。

- DSL/ケーブルモデムモードの設定
- <u>PPPoEモードの設定</u>
- <u>アクセスポイントモードの設定</u>
- <u>ダイヤルアップの設定</u>

DSL/ケーブルモデムモードの設定

DSLリンクまたはケーブルモデムからの高速インターネット接続がある場合は、DSL/ケーブルモ デムのイーサネットインターフェイスにベースステーションを接続できます。

ケーブルまたはDSLモデムモードは、ベースステーションのデフォルトモードです。このモード では、サービスプロバイダーが提供する既存のDSLまたはケーブルモデムに接続できます。

[Base Station Properties]画面(図7を参照)で、[Use Cable or DSL Modem for Internet Connection]を選択し、[Next]をクリックします。

図8-ケーブル/DSLモデムのプロパティ

Base Station Properties			×
Cable / DSL M	Aodem Properties		
Base Station Name: BSM340_30fca	2		
– Obtain IP Add ©	ress Automatically: No		
0	Yes		
Base Station IP Address: 192.168.1.21			
Subnet Mask: 255.255.255.0			
Default Gateway: 192.168.1.1			
DNS Server 1: 10.1.1.1			
DNS Server 2: 10.2.2.1			
Domain Name: cisco.com			
<u>M</u> ore Info	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel

[Next]をクリックし、設定されたパラメータを含むメイン設定画面に戻ります。[OK]をクリック し、ワイヤレスリンクを介してベースステーションにパラメータを送信します。

図9 – ケーブル/DSLの設定

Set Up Base Station With My Settings	×	
Computer Name =REMERSON-W2KNetwork Name =WorkgroupSSID =tsunamiEncryption =DisabledBase Station Mode =Using DSL or Cable ModemBase Station Name =BSM340_30fca2Obtain Network Address Automatically =OffIP Address =192.168.1.21Subnet Mask =255.255.255.0Default Gateway =192.168.1.1DNS Server 1 =10.1.1.1DNS Server 2 =10.2.2.1Domain Name =cisco.com		
Reset the Base Station now, and click OK when the Base Station's middle LED is flashing Yellow. If you don't reset the Base Station, the middle LED won't flash Yellow.		
The Base Station will then be set up with your current settings.		
Edit Base Station Settings QK Cance	el	

<u>PPPoEモードの設定</u>

PPP over Ethernet(PPPoE)モードは、ISPがケーブルモデムまたはDSLモデム経由の通信にプロ トコルを必要とする場合に使用されます。ベースステーションは、イーサネットによってDSLま たはケーブルモデムに物理的に接続されます。

[Base Station Properties]画面(図7を参照)で、[Use PPP over Ethernet for Internet Connection]を選択し、[Next]をクリックします。

表示される[**PPP Over Ethernet Properties**]画面で、ISPから提供されたユーザ名、パスワード、ド メイン名を入力します。[next] をクリックします。

図10 - PPPoEのプロパティ

Base Station Properties		×
	PPP Over Ethernet Properties	
Login User Name:	cisco	
Login Password:	*****	
Service:		
Domain Name:	cisco.com	
<u>M</u> ore Info	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext>	Cancel

新しい設定が表示されます。ベースステーションモードとその他のパラメータが設定されている ことを確認し、[OK]をクリックして設定をベースステーションに送信します。

図11 - PPPoE設定

Set Up Base Station With My Settings	×
Computer Name = REMERSO Network Name = Workgroup SSID = tsunami Encryption = Disabled Base Station Mode = PPP over E User Name = cisco Password = ****** Domain Name = cisco.com	N-W2K thernet
Reset the Base Station now, and click OK middle LED is flashing Yellow. If you don't re middle LED won't flash Y The Base Station will then be set up with	when the Base Station's eset the Base Station, the 'ellow. n your current settings.
Edit Base Station Settings	<u>O</u> K Cancel

<u>アクセスポイントモードの設定</u>

アクセスポイントモードでは、ベースステーションは内部の有線LANに接続できます。このモー ドでは、ワイヤレスデバイスはネットワークリソースのために有線LANにアクセスできます。

アクセスポイント(AP)モードでは、ベースステーションはワイヤレスデバイスまたは有線デバイ スにDHCPサーバ機能やNAT機能を提供しません。有線ネットワークにDHCPサーバが含まれて いる場合、無線カードを使用すると、無線PCがDHCPを通じて自動的にネットワーク情報を取得 するように設定できます。ベースステーションは一般的なアクセスポイントとして機能し、 DHCPサーバとの間でDHCPパケットを送受信します。

注:外部DHCPサーバを使用する際にベースステーションIPアドレスを取得するには、Cisco Aironet 340シリーズベースステーションCDに収録されているIP Setup Utility(IPSU)を使用します (『<u>IPSUのインストール』を参照</u>)。

[Base Station Properties]画面(図7を参照)で、[Use as Access Point for Wireless Clients Only]オ プションボタンをクリックして、[Next]をクリックします。

表示される[アク**セスポイントプロパティ]**画面で、ベースステーションがIP情報を自動的に受信す るかどうかを選択します。そうでない場合は、ネットワークに適したアドレス、マスク、ゲート ウェイ、およびDNS情報を入力し、[**Next**]をクリックします。

図12-アクセスポイントのプロパティ

Base Station Properties	×
Access Po	pint Properties
Obtain IP Add ©	ress Automatically: No Yes
Base Station IP Address: 192.168.1.21	
Subnet Mask: 255.255.255.0	
Default Gateway: 192.168.1.1	
DNS Server 1: 10.1.1.1	
DNS Server 2: 10.2.2.1	
<u>M</u> ore Info	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel

新しい設定が表示されます。Base Stationモードとその他のパラメータが設定されていることを 確認し、[**OK**]をクリックして設定をBase Stationに送信します。

図13-アクセスポイントの設定

Set Up Base Station With My Settings			×
Computer Name = Network Name = SSID = Encryption = Base Station Mode = Obtain Network Address Automatically = IP Address = Subnet Mask = Default Gateway = DNS Server 1 = DNS Server 2 =	REMERSON-W2 Workgroup tsunami Disabled Access Point Off 192.168.1.21 255.255.255.0 192.168.1.1 10.1.1.1 10.2.2.1	2K	
Reset the Base Station now, a middle LED is flashing Yellow. I middle LED	and click OK when f you don't reset th won't flash Yellow	n the Base Station' ne Base Station, th	s ne
The Base Station will then b	e set up with your	current settings.	
Edit Base Station Settings		<u>0</u> K	Cancel

<u>ダイヤルアップの設定</u>

BSM342には、ブロードバンドインターネット接続がない場合にISPにダイヤルアップするための 統合モデムが含まれています。クライアントPCは、ダイヤルオンデマンド接続を開始するか、手 動でトリガーされたときにISPにダイヤルするように設定できます。

[Base Station Properties]**画面(図7を参照)**で、[**Use Built In 56k Modem for Internet Connection]を選択し、[Next**]をクリックします。[ダイヤラ**ップモデムのプロパティ]**画面が表示さ れます。

図14-ダイヤルアップモデムのプロパティ

Base Station Properties	×
Dia	alup Modem Properties
Login User Name: cisco	
Login Password:	
Phone Number: 55512	34
Domain Name: cisco.	com
Tone or Pulse Dialing: Tone Dialing Pulse Dialing	Dial On Demand: O Off O On
Idle Time Hangup: 10	(Minutes) Country: USA Australia
<u>M</u> ore Info	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel

[ユーザ名(Username)]、[パスワード(Password)]、[電話番号(Phone Number)]、および[ドメイン 名(Domain Name)]の設定は、ISPから提供される必要があります。

ベースステーショ**ンが接続さ**れている電話回線の機能に基づいて、[トーンダイヤリング]または [パルスダイヤリング]を選択します。

クライアントPCからのトラフィックがある場合にモデムがISPに自動的に接続するようにするに は、[Dial on Demand] 設定を[On]に設定します。Offを選択した場合は、Base Station Connection Status(BSCS)画面でConnectをクリックするか、または(インターネットブラウザを使用してい る場合)Base Stationのメインメニュー画面でStart a connectionをクリックして接続を手動しま す。

アイドル**ハングアップ時間の設定**は、IPトラフィックが回線を通過しない場合にモデムがISPに接続し続ける時間を示します。ISPの接続の終了時に、設定されているアイドル時間が短くなる場合があることに注意してください。

[国]**設定で**は、統合モデムの国コードを指定します。これは、ベースステーションが動作している 国に設定します(国際的にダイヤルする場合は、モデムがダイヤルする国に設定しないでくださ い)。

図15-ダイヤルアップモデムの設定

Set Up Base Station With My Settings		×
Computer Name = Network Name = SSID = Encryption = Base Station Mode = Dial On Demand = Dial Mode = Idle Hangup Timeout = Phone Number = User Name = Password = Domain Name =	REMERSON-W2K Workgroup tsunami Disabled Using Dial Up Modem On Tone 10 minutes 5551234 cisco ******* cisco.com	
Reset the Base Station now, a middle LED is flashing Yellow. I middle LED	and click OK when the Base Station's If you don't reset the Base Station, the won't flash Yellow.	
The Base Station will then b	be set up with your current settings.	
Edit Base Station Settings	<u>0</u> K	Cancel

[Next]をクリックし、ダイヤルアップの設定が表示されます。パラメータを確認し、[OK]をクリ ックして設定をベースステーションに送信します。

<u>Webブラウザによるベースステーションの設定</u>

Windows以外のプラットフォームを使用する場合、またはBSCUを使用しない場合は、Webブラ ウザからベースステーションを設定できます。

<u>ベースステーションを参照</u>

Webブラウザでベースステーションに接続するには、BSxの<u>IPアドレスを入力します</u> & apos;s IPアドレス Webブラウザの[Address or Location]領域に移動します。デフォルトのIPアドレスは 192.168.200.1です。以前に変更した場合は、正しいアドレスを入力します。

注:ブラウザがデフォルトのIPアドレスまたは設定したアドレスで接続できない場合は、ベース ステーションをデフォルト設定にリセットします。手順については、「<u>リセットボタンによるデ</u> <u>フォルトの設</u>定」を参照してください。

接続すると、メインのセットアップページが表示されます。

図16 - [Main Setup]ページ

Ele Edit View So Communicator Help		- 雑					<u>_ ×</u>
Back Forward Reload Home	Zearch	Metscape	it Print	Security	👌 Shop	Stop	N
Bookmarks & Location: http://192	.168.200.17						<u> </u>
Cisco BSM340 V8.52				BSM340	_30fca2 -	- 192.168.2	200.001
Item				Value			
SSID - Service set identification	a string	; of at leas	t 1 chara	acters ts	unami		
WEP encryption key in ASCII		<u>of</u>	or a ke	у			
WEP encryption key in hex	off or a key						
Use new SSID and key							
Operating mode	cable_D	SL_mode	m, <u>acce</u>	esspoint, Pl	PP over	ethernet or	r <u>dialup</u>
Base station name		∂ astri	ng BSM3	340_30fc	a2		
Obtain network address automatically				off or on			
Log and alarm history							
Load new firmware via browser				Brow	rse	Send	
Connection status : Logged in IP Address : 192.168.001.101 DNS servers:	n for 0 (1 Mask: 024.093 Doma	days, 3: 255.255 .067.06 ain Name	57:00, 5.255.0 5, 024 :	, Rx 395 000 Gate .093.067	758 / T: way: 19: 7.064	x 124660 2.168.00	bytes 1.001
					504 B. (100	-
Document: Done				1	- 3 - 1	00 5	🛯 🏏 //.

メインの設定画面には、ベースステーションの現在の設定が表示されます。

<u>ベースステーションの特性</u>

SSIDとWEPキーのデフォルトを変更する必要があります。そのためには、テキストボックスに 新しい値を入力します。ブラウザの入力ボックスに情報を入力する場合は、Enterキーを押*して入* 力を完了する必要があります。SSIDとWEPキーを変更する場合は、Aironet Client Utilityを使用し てクライアントマシンに設定する必要があります。

ベースステーションで変更をアクティブにするには、[Use new SSID and key]を**クリックします**。

<u>ケーブル/DSLモデムモードの設定</u>

図16では、ベースステーションのデフォルトの動作モードがcable_DSL_modemで、黒い文字が 表示されています。ケーブル/DSLモデムモードで使用できるその他の設定可能なオプションは次 のとおりです。

- ・基地局名:ここにベースステーションの新しい名前を入力し、Enterキーを押します。
- ネットワークアドレスを自動的に取得する:ベースステーションがDHCPサーバからIPアドレス情報を受信する場合は、この設定を[オン]のままにしてください。そうでない場合は、[オフ]を選択します。画面が更新され、IP設定オプションが表示されます。アドレス、マスク、ゲートウェイ、DNS、およびドメイン名情報は、ISPから提供される必要があります。各エントリを入力した後でEnterキーを押す必要があります。

PPPoEモードの設定

図16に示すメインページで、PPP_over_ethernetをクリックします。

メインページが展開され、入力するPPPoEパラメータが表示されます。ログイン名、パスワード 、ドメイン名を入力します。これらの値は、インターネットサービスプロバイダーが提供する必 要があります。各エントリの最後**にEnter**キーを押してください。

図17 - PPPoEセットアップページ

Retscape	alo						<u>_ </u>
Back Forsvard Reload Ho	nme Search	Netscape	di Alexandre di Al	i Security	🔕. Shop	Stop	N
Bookmarks 🧔 Location: http: 	//192.168.200.1/	/d/Mode/PPF	_over_eth	ernet			-
Cisco BSM340 V8.52			BS	M340_30	fca2 - 19	92.168.20	0.001
Item			V	alue			
SSID - Service set identification	a string of	f at least 1	characte	ers tsuna	mi		
WEP encryption key in ASCII		<u>of</u> f or	a key 🗌				
WEP encryption key in hex		<u>off</u> or a ke	у				
Use new SSID and key							
Operating mode	cable DSL	modem, a	ccesspoi	nt, PPP_o	ver_eth	ernet or	dialup
Base station name		a string	BSM340	_30fca2			
Service name		a string					
Login user name		a string					
Login password		a string					
Domain name		a string					
Log and alarm history							
🖀 🕪 🛛 Document: Done							

<u>アクセスポイントモードの設定</u>

図16に示すメインページで、[アクセスポイント]をクリックします。

メインページが展開され、入力するアクセスポイントパラメータが表示されます。アドレス、マ スク、ゲートウェイ、DNS、およびドメイン名の情報を入力します。各エントリの最後**にEnter**キ ーを押してください。

図18 - [Access Point Setup]ページ

Netscape							_ 🗆 🗵
Elle Edit View Go Communicator Hel Back Forward Reload Hor	P ne Search	Netscape	d Print	i 💕 Security	🔕. Shop	Stop	N
Bookmarks & Location: http://	/192.168.1.103/	/d/DHCP/off					<u> </u>
Operating mode Base station name	cable DSL	<u>modem</u> , a a string	accessp BSN340	oint, <u>PPP</u>)_30fca2	over eth	<u>ernet</u> or	
Obtain network address automatically			of	f or <u>on</u>			
Internet address		an IP ao	ldress 1	192.168.0	001.103		
Internet subnet mask		an IP ao	idress 2	255.255.2	255.000		
Internet default gateway		an IP ao	idress 1	192.168.0	001.001		
DNS server 1		an IP ao	idress 1	192.168.0	001.253		
DNS server 2		an IP ao	idress 1	192.168.0	001.254		
Domain name		a string	cisco.	com		R	
Log and alarm history							
Load new firmware via browser				Browse.	Ser	nd	
Document: Do	ne				6 3 12 (19 F	- - -

<u>ダイヤルアップモードの設定</u>

図16に示すメインページで、PPP_over_ethernetをクリックします。

メインページが展開され、入力するPPPoEパラメータが表示されます。ログイン名、パスワード 、ドメイン名を入力します。これらの値は、インターネットサービスプロバイダーが提供する必 要があります。各エントリの最後**にEnter**キーを押してください。

クライアントPCからのトラフィックがある場合にモデムがISPに自動的に接続するようにするに

は、[Dial on Demand] 設定を[On]に設定する必要があります。Offを選択した場合は、接続を手動 で開始するには[接続の開始]をクリックする必要があります。手動でモデムコールを終了するには [接続の停止]をクリックする必要があります。

ハングアップを引き起こすアイドル時間**の分の設定**は、IPトラフィックが回線を通過しない場合 にモデムがISPに接続を維持する時間を分単位で示します。ISPの接続の終了時に、設定されてい るアイドル時間が短くなる場合があることに注意してください。

🔆 Netscape				_ 🗆 ×
Elle Edit View Go Communicator Help)			
Back Forward Reload Hom	e Search Netscape	Print Security	Shop Stop	N
	132.100.200.1/urm006/ulau	P		
Operating mode Base station name	cable DSL modem, a string	accesspoint, <u>PPP</u> BSM340_30fca2	over ethernet o	or dialup
Dial on demand		on or <u>off</u>		
Minutes of idle time to cause hangup	a nur	nber of 120 or les	\$ 10	
Start a connection				
Stop a connection				
Login user name	a string	cisco		
Login password	a string	*****		
Phone number	a string	5551234		
Tone or pulse dialing		tone or pulse		
Domain name	a string	cisco.com		
Log and alarm history				
Load new firmware via browser		Browse	Send	
	Connection status	: Idle		
Document: Do	ne		10 🖓 🕹	🛯 🏑 II.

図19-ダイヤルアップ設定

<u>Telnetによる設定</u>

ベースステーションの内部IPアドレスへの無線Telnet接続を開くことができます。

TelnetでBSx342に接続すると、次のメニューが表示されます。

図20 - Telnet BSx342接続メニュー

Cisco BSM340 V8.52		Main Men	u BSM340_30fca2
Option	Value		Description
1 - SSID [2 - EncryptionKey 3 - HexKey	"tsunami"] _	SSID - Service set identification WEP encryption key in ASCII WEP encryption key in hex
4 - Configure 5 - Mode [6 - Name [7 - DHCP [8 - History 9 - Close	cable_DSL_mode "BSM340_30fca2 on	n] - "] -] - -	Use new SSID and key Operating mode Base station name Obtain network address automatically Log and alarm history Close the telnet session
Connection status : Log IP Address : 192.168.0 DNS servers: 024.093.0 Domain Name:	gged in for 0 01.101 Mask: 67.065, 024.09	days, 2: 255.255. 3.067.06	02:44, Rx 1673282 / Tx 589085 bytes 255.000 Gateway: 192.168.001.001 4
Enter an option number >	or name		

ベースステーションの設定は簡単です。メニュー画面のいずれかのオプションにアクセスするに は、メニュープロンプトで番号を入力します。

<u>ファームウェアのロード</u>

BSx342にはファームウェアが事前にロードされており、すぐに動作しますが、BSx342の最新の ファームウェアをロードする<u>ことをお勧</u>めします。

- 新しいファームウェアをリセットモードにロードするベースステーションを配置するには、 小さいオブジェクト(つまようじやペーパークリップなど)を持つリセットボタン(電源接続 の左側にある)を3秒間押します。中央のLEDが黄色に点滅し始めます。
- 2. ファームウェアイメージをベースステーションにアップロードするには、BSCUを使用する 必要があります。デスクトップ上のBSCUアイコンをダブルクリックするか、[スタート]ボ タン**メニューを移動**し、[Base Station Client Utility]を選択してBSCUを起動します。
- ユーティリティがロードされたら、BSCUメニューからBase Stationを選択し、Load New Firmware Into Base Stationをクリックします。アップグレードに必要なファームウェアファ イルの検索を求められます。ファイルを検索し、[開く]ボタンをクリックします。
- ファイルがリセットモードでベースステーションにアップロードされると、経過表示バーが 表示されます。ベースステーションが再起動している間、経過表示バーは約95 %で停止し ます。ベースステーションがバックアップされると、転送が行われたコンピュータがベース ステーションとの接続を再確立し、バーが100 %になります。



- <u>Cisco Aironet 340 シリーズ テクニカル ノート</u>
 <u>テクニカルサポート Cisco Systems</u>